

登録コード	L1062200	開講年度	2026				
担当教員	青木 隆			副担当			
授業科目	政治学Ⅱ						
英文授業名	Politics Ⅱ						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生	2～4	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限 金曜・3時限
講義室	経法401演習室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			⇔	地方自治に関する知見を基礎に、現代社会の諸問題について、他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシーを身につけることができるようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身につけている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	現代社会の諸問題について、地方自治に関する知見を基礎に、科学的で独自の視点から考えることができるようになる。これにより、人文学部人文学科の学士（文学）の学位にふさわしい基礎学力と専門の学力（思索力・受容力・批判力）を身につけることができるようになる。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身につけている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	現代社会の諸問題の解決に向けて、地方自治に関する知見を基礎に、必要な情報を的確に収集し、理解し、発信することができる力（メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー）を身につけることができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	・地方自治とは何か？から始まり、日本の地方自治制度、自治体活動について学ぶ。 ・教科書の内容を理解できるように、担当教員が元長野県職員としての実務経験を活かして、自治体が実際にどのように運営されているのかを分かりやすく講義する。 ・一方的な講義だけにならないよう、学生に考え、発表してもらう機会を設けるので、日頃から地方自治に関する新聞記事やニュース等に関心を持ち、積極的に授業に参加して欲しい。 ・地方公務員を志望する学生、地方自治に関心を持つ学生の履修を奨励する。						
授業計画	第1回 オリエンテーション（授業の進め方、受講のルール） 第2回 自治体と地方自治制度 第3回 日本の地方自治制度の歴史 第4回 地方分権改革 第5回 都道府県と市区町村 第6回 自治体の統治構造 第7回 首長と執行機関 第8回 議会と議員 第9回 自治体の組織管理 第10回 財政運営と財政改革 第11回 職員の職務と人事管理 第12回 行政統制と自治体改革 第13回 住民と自治体 第14回 コミュニティの自治と協働 第15回 住民運動と市民参加、授業アンケート 期末試験 ※本授業は隔週開講を予定しています。						
成績評価の方法	論述問題を出題する期末試験により評価する（100点）が、授業中の意見発表、質問等による授業貢献度を最大30点加点する。						
成績評価の基準	日本の地方自治について、その概要を記述できれば「合格水準にある」、諸外国との違いを記述できれば「やや上にある」、その問題について記述できれば「かなり上にある」、問題の解決策を記述できれば「卓越している」。						
事前事後学習の内容	事前学習は、教科書の該当部分を読んでおくこと。事後学習は、授業内容を復習すること。						
履修上の注意	授業には必ず教科書を持参すること。						
質問、相談への対応	授業中の他、授業終了後、講義室にて対応する。						
教科書	『ホーンブック地方自治[新2版]』、磯崎初仁・金井利之・伊藤正次、北樹出版、2025年						

参考書	授業中に適宜紹介する。
-----	-------------